

## サービス業

回答企業42企業

### 概況

～業況判断DI値 全項目で悪化～



今期の業況判断DI値は、前回調査比26.2ポイント低下の▲26.2と悪化し、前回調査予想値(▲35.7)を上回る結果となった。項目別では、売上・受注で38.1ポイント低下の▲23.8、売上数量が33.3ポイント低下の▲21.4、利益でも42.9ポイント低下の▲28.6と全項目で悪化となった。

新型コロナウイルス感染症の影響は落ち着きを見せ、業種間格差はあるが総合的業況悪化で推移した。

### 分野別の状況

～総合的業況は悪化で推移～

旅館・ホテル業は、予約数は増加傾向にあるが、冬期間の閑散期という事もあり売上は減少傾向で推移した。

理容・美容業は、客足が戻っては来ているものの、材料価格や燃料価格高騰の影響で業況は悪化している。

自動車整備・钣金業は、冬期間は販売車両減少するため売上減少したが、例年より事故車両修理台数が多かつたため修理部門の売上は増加した。

自動車教習所は、入校者数が増える時期であるが、少子化の影響により全体数が少なく売上が減少した。

農機具修理業は、農機具の入荷時期の遅延もあり、顧客との交渉も難しい状態が続いている。業況は悪化で推移した。

## 運輸業

回答企業10企業

### 概況

～業況判断DI値 横ばいで推移～



今期の業況判断DI値は、前回調査比0.0ポイントの30.0と横ばいで推移し、前回調査予想値(▲10.0)を上回る結果となった。項目別では、売上・受注で40.0ポイント低下の10.0、売上数量が40.0ポイント低下の10.0、利益でも40.0ポイント低下の▲20.0と項目別では大幅悪化となった。

業種間格差があるが、冬期間でもりんご輸送を中心に受注できており、総合的業況は良好に推移した。

### 分野別の状況

～業況良好に推移～

旅客運送業は、冬期間は閑散期であるが、国内ツアーや学校行事の再開により、売上確保できた。

貨物運送業は、燃料価格高騰に伴い運賃交渉を行った。提携先からの依頼が減少傾向にあるが、影響は軽微であった。

燃料価格高騰が利益を圧迫している中、価格転嫁に苦慮している状況が続いている。季節的要因のなかで受注は減少しているが、除雪作業等の公的機関の受注が継続したことで横ばいで推移した。

建設資材運送業は、取引先からの受注が少なく、燃料価格が上昇していることから、利益は減少となった。

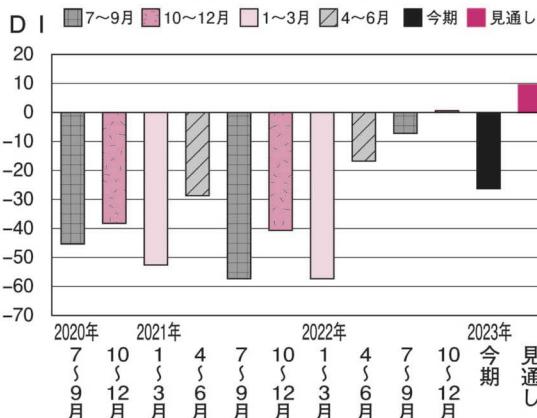
### 来期の見通し

～業況判断DI値 大幅改善の見通し～



来期の見通し業況判断DI値は、今回調査比35.7ポイント上昇の9.5と大幅改善の見通しである。項目別では、売上・受注で35.7ポイント上昇の11.9、売上数量が30.9ポイント上昇の9.5、利益でも33.4ポイント上昇の4.8と全項目で大幅改善の見通しとなった。季節的要因の影響もあるが、桜祭りやゴールデンウィーク等における各種イベント開催に対する期待感の高まりと、予約状況良好であることから、大幅改善する見通しである。

### 業況判断DI値の推移



### 来期の見通し

～業況判断DI値 やや悪化の見通し～



来期の見通し業況判断DI値は、今回調査比10.0ポイント低下の20.0とやや悪化の見通しである。項目別では、売上・受注で30.0ポイント上昇の40.0、売上数量が40.0ポイント上昇の50.0、利益でも30.0ポイント上昇の10.0と全項目で改善の見込みとなった。

燃料費以外の経費増加が著しく、利益確保の難しい状況が続く。価格転嫁できるかが課題となっている。

### 業況判断DI値の推移

